

事務事業名	男女共同参画社会づくり推進事業			担当	教育委員会 生涯学習課 女性青少年係			
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-82-7151		
施策名	7	男女共同参画社会の実現			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	真岡市男女共同参画推進条例				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成12年度～）			
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	4. 社会教育総務費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	<p>平成11年度に成立した男女共同参画社会基本法に基づき、真岡市は平成12年度に男女共同参画社会づくり市民会議を設置し、平成13年度に「真岡市男女共同参画社会づくり計画」を策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進体制：男女共同参画社会づくり市民会議（年2回開催し、計画の推進を図る）男女共同参画社会づくり計画推進会議（計画推進のための庁内連絡調整を図る）のほか、男女共同参画審議会（市民会議で策定した計画や市長の諮問に応じて審議する）平成22年度は市民会議を4回開催し、真岡市男女共同参画推進条例を策定し、制定された。条例の制定に伴い、市民会議は附属機関からはずれ、審議会が附属機関となった。</li> <li>・女性団体活動支援：各女性団体に対する活動補助、市民のつどいの支援・女性リーダーの育成：県主催国内研修に派遣する。</li> </ul> <p>平成24年3月に「第2次真岡市男女共同参画社会づくり計画」を策定した。</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 第2次真岡市男女共同参画社会づくり計画の策定・市民会議開催(3回)・真岡市男女共同参画審議会(2回)講演会開催・座談会実施(18回)・女性団体活動支援・女性リーダーの育成・男女共同参画情報紙(全戸配布)の発行 男女共同参画セミナー(3回)開催  25年度計画 第2次真岡市男女共同参画社会づくり計画に基づき、関係各課、機関等と連携し、効果的な推進を行っていく。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア：市民会議開催数	回	2	4	3	2	2
	イ：座談会開催数	回	22	15	18	17	20
	ウ：講演会開催数	回	1	1	1	1	1
エ：審議会開催数	回			2	2	2	
オ：男女共同参画セミナー	回				3	3	
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア：真岡市民	人	82997	82584	82136	82205	80929
	イ						
	ウ						
エ							
オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 男女共同参画社会づくり計画の実践と推進を図り、男女共同参画社会の実現を促進する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア：座談会参加人数	人	527	467	666	412	550
	イ：講演会参加人数	人	409	229	32	130	150
	ウ：市の附属機関の女性審議委員の割合	%	25.6	27.5	26.8	24.4	280
エ							
オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 男女共同参画社会の実現を図る。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア：男女が平等になっていると感じている者の割合	%	30.2	35.3	33.0	21.5	23.0
	イ						
	ウ						
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	734	377	2,847	949
	事業費計(A)	千円	734	377	2,847	949	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	50	80	360	360
		人件費計(B)	千円	203	341	1,527	1,513
トータルコスト(A)+(B)		千円	937	718	4,374	2,462	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	男女共同参画社会基本法に基づき、平成12年度に真岡市男女共同参画社会づくり市民会議を設置。平成14年3月に「真岡市男女共同参画社会づくり計画」を策定した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成19年4月に「真岡市男女共同参画社会づくり計画 後期実施計画（平成19年度～23年度）」が策定され、男女共同参画社会への取り組みがより強化された。また市町合併に伴い平成21年10月に後期実施計画の改定版が策定された。計画策定時の平成13年に比べ、平成22年には委員会等の女性委員構成割合が、14.0%から27.5%と13.5%増に、また職場における男女平等意識が27.2%から41.6%と14.4%増となるなど推進が図られている。 第2次計画の見直しの際「男女平等意識」に関する調査回答項目を変更した。男女平等意識の割合が平成24年度より下がっているのはそのためである。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 男女共同参画社会づくりは市の責務である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 男女共同参画社会づくり計画に基づき、男女共同参画社会の実現を推進することは、適切である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市民全員を対象にしている。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 男女共同参画社会づくり計画に基づいているため。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 本市の男女共同参画社会づくりの推進が図れない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？  ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 男女共同参画社会づくり計画に基づいた事業は他にはない。  <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 計画の遂行のため、必要最小限の事業費である
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 計画の遂行のため、必要最小限の人件費である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							